

第一種使用規程の承認に係る申請案件の審査状況

名称【申請者】	使用等の内容	検討状況		承認の状況			
		農作物 分科会	総合 検討会	カルタヘナ法		食品衛生法 又は飼料安全法	
				隔離ほ場	一般利用	食品	飼料
1 高染色性絹糸生産カイコ（改変 <i>Fibroin H</i> 、 <i>Bombyx mori</i> ） （GCS500、中515号×GCS500、GCS508、中517号×GCS508） 【国立研究開発法人農業・食品産業技術総合研究機構】	カイコの繭糸の生産を目的とした、①幼虫（3齢幼虫期以降のものに限る。以下同じ。）の飼育、②繭の生産及び加工、③幼虫及び繭の保管、運搬及び廃棄並びに①から③までに付随する行為	2019年 2月15日 2020年 2月6日	2020年 3月11日				
2 青色蛍光タンパク質含有絹糸生産カイコ （ <i>HC-Sirius</i> 、 <i>Bombyx mori</i> ） （GN13、GCS13、GN13×GCS13、GN13×MCS4、GN13×支146号、 日137号×GCS13） 【国立研究開発法人農業・食品産業技術総合研究機構】	カイコの繭糸の生産を目的とした、①幼虫（3齢幼虫期以降のものに限る。以下同じ。）の飼育、②繭の生産及び加工、③幼虫及び繭の保管、運搬及び廃棄並びに①から③までに付随する行為	2019年 2月15日 2020年 2月6日	2020年 3月11日				
3 チョウ目害虫抵抗性並びに除草剤アリルオキシアルカノエート系、グリホサート及びグルホシネート耐性ダイズ （改変 <i>cry1F</i> 、改変 <i>cry1Ac</i> 、改変 <i>aad-12</i> 、 <i>2mepsps</i> 、 <i>pat</i> 、 <i>Glycine max</i> （L.）Merr.） （DAS81419×DAS44406、OECD UI：DAS-81419-2×DAS-44406-6） 【ダウ・アグロサイエンス日本株式会社】	食用又は飼料用に供するための使用、加工、保管、運搬及び廃棄並びにこれらに付随する行為	2020年 1月31日 2月19日	2020年 3月11日	-	2017年 （モニタリング有）	-	-
4 除草剤グリホサート及び4-ヒドロキシフェニルピルビン酸ジオキシゲナーゼ阻害型除草剤耐性ワタ （ <i>2mepsps</i> 、 <i>hppdPfw336-1Pa</i> 、 <i>Gossypium hirsutum</i> L.） （GHB811、OECD UI:BCS-GH811-4） 【BASFジャパン株式会社】	食用又は飼料用に供するための使用、加工、保管、運搬及び廃棄並びにこれらに付随する行為	2018年 10月22日 2019年 1月11日 2020年 2月19日	2020年 3月11日	2017年 5月	-	2018年	2018年

注1：「承認状況」の「カルタヘナ法」欄は、第一種使用規程が承認された年を記載しており、「-」は未承認であることを示す。
また、農作物の「隔離ほ場」欄における「免除」は、トウモロコシについては隔離ほ場試験が不要と判断されたもの、スタック系統については親系統と比較し形質間の相互作用が示されていないことを確認しているものであることを示す。

注2：「承認状況」の「食品衛生法又は飼料安全法」欄は、安全性が確認された年又は所定の手続を行った年を記載しており、「-」は未確認であること、「○」は安全性が確認されたもの同士の掛け合わせであることを示す。
ただし、「-」には、花きや昆虫など、食用や飼料用に供さない場合も含まれる。

【参考】親系統の審査状況

チョウ目害虫抵抗性並びに除草剤アリルオキシアルカノエート系、グリホサート及びグルホシネート耐性ダイズ (DAS81419×DAS44406)

名 称【申請者】		使用等の内容	承認の状況				
			カルタヘナ法		食品衛生法 又は飼料安全法		
			隔離ほ場	一般利用	食品	飼料	
1	参考資料1 ダイズの番号 31、47	チョウ目害虫抵抗性及び除草剤グルホシネート耐性ダイズ (改変 <i>cry1F</i> , 改変 <i>cry1Ac</i> , <i>pat</i> , <i>Glycine max</i> (L.) Merr.) (DAS81419, OECD UI: DAS-81419-2) 【ダウ・アグロサイエンス日本株式会社】	食用又は飼料用に供するた めの使用、加工、保管、運搬 及び廃棄並びにこれらに付 随する行為	2013年	2017年	2014年	2015年
2	参考資料1 ダイズの番号 21、40	除草剤アリルオキシアルカノエート系、グリホサート及びグル ホシネート耐性ダイズ (改変 <i>aad-12</i> , <i>2mepsps</i> , <i>pat</i> , <i>Glycine max</i> (L.) Merr.) (DAS44406, OECD UI: DAS-44406-6) 【ダウ・アグロサイエンス日本株式会社】	食用又は飼料用に供するた めの使用、栽培、加工、保 管、運搬及び廃棄並びにこ れらに付随する行為	2011年	2015年	2014年	2015年

注1:「承認の状況」の「カルタヘナ法」欄は、第一種使用規程が承認された年を記載しており、「-」は未承認であることを示す。
また、「隔離ほ場」欄における「○」は、「農林水産分野等における組換え体の利用のための指針」に基づき、確認されたものであることを示す。

注2:「承認の状況」の「食品衛生法又は飼料安全法」欄は、安全性が確認された年又は所定の手続を行った年を記載しており、「-」は未承認であることを示す。ただし、「-」には、花きなど、食用や飼料用に供さない場合も含まれる。

【参考】親系統の審査状況

除草剤ジカンバ、グルホシネート及びグリホサート耐性ワタ/ピマワタ

名 称【申請者】		使用等の内容	承認の状況				
			カルタヘナ法		食品衛生法		
			隔離ほ場	一般利用	食品	飼料	
1	参考資料1の24頁 ワタの番号9	除草剤グリホサート耐性ワタ (<i>cp4 epsps</i> , <i>Gossypium hirsutum</i> L.) (MON88913, OECD UI: MON-88913-8) 【日本モンサント株式会社】	食用又は飼料用に供するた めの使用、加工、保管、運搬 及び廃棄並びにこれらに付 随する行為	2004年	2006年	2005年	2006年
2	参考資料1の26頁 ワタの番号34	除草剤ジカンバ及びグルホシネート耐性ワタ (改変 <i>dmo</i> , <i>bar</i> , <i>Gossypium hirsutum</i> L.) (MON88701, OECD UI: MON-88701-3) 【日本モンサント株式会社】	食用又は飼料用に供するた めの使用、加工、保管、運搬 及び廃棄並びにこれらに付 随する行為	2012年	2015年	2014年	2015年

注1:「承認の状況」の「カルタヘナ法」欄は、第一種使用規程が承認された年を記載しており、「-」は未承認であることを示す。
また、「隔離ほ場」欄における「○」は、「農林水産分野等における組換え体の利用のための指針」に基づき、確認されたものであることを示す。

注2:「承認の状況」の「食品衛生法又は飼料安全法」欄は、安全性が確認された年又は所定の手続を行った年を記載しており、「-」は未承認であることを示す。ただし、「-」には、花きなど、食用や飼料用に供さない場合も含まれる。